

【論文】

「録音・録画記録媒体を実質証拠として用いることの許否とその条件」法学セミナー750号（平成29年6月）

「被疑者・被告人の防御主体性——黙秘権を手掛かりに」後藤昭（編）『刑事司法を担う人々』（岩波書店）（平成29年4月）

【判例研究】

「採尿令状による連行」井上正仁ほか（編）『刑事訴訟法判例百選〔第10版〕』（有斐閣）（平成29年5月）

「GPS捜査の適法性」法学セミナー749号（平成29年5月）

「訴因変更命令の義務」法学セミナー752号（平成29年8月）

「公判廷における身体拘束と訴訟手続の法令違反」（平成29年11月）

「被疑者が弁護人に宛てた信書の一部が抹消された事例」（平成30年2月）

【学会報告】

「弁護人の接見交通権」（日本刑法学会）（平成29年5月21日）